



THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A. THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11
山梨Y.M.C.A.青少年センター
〒400-0032 TEL 055-235-8543
FAX 055-235-8553

国際会長主題：ともに、光の中を歩もう
アジア太平洋地域会長主題：ワイズ運動を尊重しよう
東日本区理事主題：広げよう ワイズの仲間
あずさ部長主題：継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう
甲府21クラブ会長主題：実現可能な目標定め 山梨YMCAを支援しよう

Henry Grindheim (ノルウェー)
Tung Ming Hsiao (台湾)
栗本 次郎 (熱海)
大野 貞次 (東京西)
佐藤 重良

甲府21ワイズメンズクラブ
2017年12月会報
強調月間
EMC/MC

会長挨拶

甲府21ワイズメンズクラブ会長 佐藤重良

本日12月10日は、甲府21クラブ恒例のクリスマス例会です。高津俊牧師様をお招きしての礼拝となりました。また多くのお客様においで頂きました。ありがとうございます

さて、先日の11月3日の山梨YMCAの第57回バザーへの協力は色々な面での新挑戦でした。例えば大根・白菜を種蒔きから始め、収穫はYMCAの障害児教室の児童と一緒にしました。子供たちの大きな喜びを感じました。他にもクラブ員の全員の協力で山梨YMCAのバザーへ貢献できたと思います。

11月20日は、山梨県障害者フライングディスク競技大会が開催され、甲府21クラブからメネットさん・コメットさん含め総勢13名が支援活動に加わりました。選手の障害者たちの目の輝きと投下後の喜びを万歳して共有しました。

11月7日は、来年開催予定のベビーカーコンサートについて、埼玉の矢崎武雄様の卓話をしていただきました。矢崎様の開催のコンセプトが素晴らしいものでした。しっかり準備をしてベビーとママさん達に喜んでいただけますようなCS活動をクラブ員全員の協力で 成功させようと思います。

今月の聖句

マタイによる福音書1章18節から25節 高津 俊 選

日本キリスト教団南甲府教会 高津 俊 牧師

プロフィール

東京・調布と三鷹で生まれ育つ。機械工学を専攻していた頃、フィリピン・ミンダナオ島で教会付属施設（高校、幼稚園）の土台工事をフィリピンの人と一緒にする経験から、平和を希求する生き方に方向転換して、若干の紆余曲折を経て牧師となる。

典礼と信仰実践、霊的な人生に関心を持つ。前任地は田園調布教会（担任）。留学を模索していた無任所時代は日払い倉庫労働とお酒の宅配アルバイトを経験。日本聖書神学校卒業。立教大学博士課程前期中退。

在籍者数	25名	項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション	80コンサート募金	街頭募金ファンド	切手
第1例会出席者数	20名	目標値	250,000	50,000	50,000	50,000	50,000	5,000g
第2例会出席者数	14名	10月までの計	69,074	—	—	—	—	900g
メイキップ他行事参加	25名	11月末までの計	101,790	15,050	—	—	—	900g
出席率	100%	達成率	40.70%	30.10%	—	0.00%	—	18.00%
記入担当	寺田	記入担当	古屋	古屋	古屋	古屋	古屋	相川

2017年12月例会プログラム

日時：2017年12月10日（日）午後5時00分～

会場：山梨YMCA青少年センター

【第1部 例会】

- 司会：廣瀬 健メン
佐藤重良会長
- ①開会点鐘
 - ②ワイズソング
 - ③ワイズの信条
 - ④会長挨拶 佐藤重良会長
 - ⑤ゲスト紹介
 - ⑥入会式 司会：寺田喜長メン
入会者：山本敦夫氏

⑦諸報告

【第2部 礼拝】

- 司会：山県讓治メン
奏楽：古屋律子メネット
- ①黙禱
 - ②讃美歌 231 番
 - ③聖書 高津 俊牧師
 - ④お祈り 山県讓治メン
 - ⑤奨励「クリスマスの夢」
日本キリスト教団南甲府教会 高津 俊牧師
 - ⑥讃美歌 265 番
 - ⑦ニコニコボックス・献金
 - ⑧黙禱
 - ⑨後奏

休憩

【第3部 祝会】

- 司会：廣瀬 健メン
佐藤重良会長
- ①感謝状贈呈
 - ②ゲスト挨拶
 - ③ハッピーバースデー
 - ④乾杯 次期会長
 - ⑤食事・歓談
 - ⑥アトラクション 米長晴信メン・FUJISAKURA 塾
 - ⑦オークション 相川メン・葉袋メン・赤根メン
 - ⑧YMCAの歌
 - ⑨閉会点鐘 佐藤重良会長

2017年11月例会報告

甲府21ワイズメンズクラブ副会長 荻野 清



ゲスト卓話を聞く会員達

2017年11月7日=甲府市・山梨YMCA青少年センター

ゲストの「みに北会」代表・矢崎武雄さんを迎え、また卓話拝聴希望のメネット3名および入会予定者の山本敦夫さん他2名のゲストのご出席をいただき、27名での例会となりました。

会長から11月3日開催の山梨YMCAバザーの総括の他、東日本区の案内内容および今後の行事予定等のお話があり、野々垣副会長より、12月10日開催のクリスマス例会（入会式・礼拝・祝会）の内容提案とつづき、ワイズディナー後に矢崎氏の卓話を拝聴しました。

人口約15万人のさいたま市北区で、「高齢者が地域の人たちを応援できることやろう」と矢崎代表をはじめとした有志が、「ベビーカーコンサート」と題して、子育てママ、ベビー、保育園児、障がい者たちを対象に、高齢者がボランティアについて活動参加するイベントをやろうと発案し、実行している現況を説明していただきました。このイベントは、さいたま市及び北区の行政機関や中央紙支局・地方紙・テレビ埼玉などの後援と、さいたま市大宮音楽家協会や地元の保育園などの協力を得ており、さいたま市ノーマライゼーション条例と連携しています。

この地域に住む高齢者による、次世代の人たちに故郷としての思い出を残してあげよう、障がい者も健常者も共生できる地域づくりを考えようと、このコンサートを主軸にした子育て応援活動のお話を拝聴、有難うございました。

日時：2017年11月7日（火） 午後7時00分～

会場：山梨YMCA青少年センター

司会：駒田 聖句・会員一言：相川

出席者：[メン]相川、荻野、小澤（公）、小澤（智）、鎌田、功刀、後藤、駒田、佐藤、清藤、茅野、奈良田、野々垣、廣瀬、古屋、松村（禎）、松村（豪）、薬袋、山県、米長

[メネット]荻野、清藤、野々垣

[ゲスト]矢崎武雄氏、山本敦夫氏、長田陽一氏、中田久仁氏

2017年11月例会 ゲスト卓話 誌上再録



ベビーカーコンサートのコンセプトを説明する矢崎武雄氏
2017年11月7日=甲府市・山梨YMCA青少年センター

ベビーカーコンサートは、高齢者が中心のボランティア活動として地域の世代間交流を『子育て応援』をキーワードに始めました。地域福祉=子育て、障がい者、高齢者、世代間交流を地域で進めることを考えつきました。活動の目的及び概要をさいたま市始め、市社協、市教委などに相談したところ主旨には無論、賛同が頂け、協力しますとの回答を頂きました。地域で古くからの地域ネットワークを持たない私共にはこれは活動展開の大きなエネルギーとなりました。私たちの狙いや主旨が受け入れられたのか、第1回～第4回の実施で毎回延べ500～600名が幅広く参加され、地域での認知度も高まり、定着しています。これからも年に2回（5月、10月）の開催を計画しています。

さいたま市には10の区があり各区12万～15万人の人口で年齢構成も似通っています。私も北区の人口はおよそ15万人ですが各区とも同じような人口動態でもあり、子育て応援モデルの事例として、さいたま市の他の区へも広げられたら新たな『子育て応援活動』になるものと期待しています。

私がこの活動を進める時の気持ちは言ってみれば、「私の孫が250人、私の保育園児が70人、私の障がい児が50人、私の家のお嫁さんが250人参加して、その方たちと一緒にこのコンサートをやっている」という考えで取り組んでいるということです。これは与えられた喜びであり、活動のモチベーションとして大きなものだと思っています。人のためではなく自分の喜びのためにやるという目的をしっかりと持ちながら取り組んで頂きたいです。言わば、甲府に生まれて、甲府に住んで良かったと子どもたちから思ってもらえるためのお手伝いということだと思います。私たちは先達からそのようにしてもらったことをお返しする立場になったのだと思います。私の事例がお役に立つようでしたらいつでも喜んでお手伝いをさせて頂きたいです。

矢崎武雄

（2017年11月7日 山梨YMCA青少年センターにて）

会員ペンリレー 木の建築の優位性

甲府21ワイズメンズクラブ会長 佐藤重良

日本の木材の現状

日本国土の70%が森林 山梨県の77.8%が森林率は全国3位
日本の木材自給率30%で70%は輸入である

A. 木材の地球環境に与える影響 温暖化防止効果

1. 炭素貯蔵効果

木材は樹木が成長する際の大気から吸収した二酸化炭素を炭素の形で貯蔵しています。家を1棟木造で建築すると、その住宅が貯蔵する炭素量分だけ大気中から削減したことになります。

2. 材料代替効果

住宅を木材で建築した場合、木材は加工するのに必要なエネルギーが少ないのです。材料製造にかかる二酸化炭素の排出量が少ないこととなります。同じ住宅をコンクリートや鉄骨造にした場合、製造エネルギーがかなり多いので、二酸化炭素の排出量が多くなりますが木造建築は排出量を削減できます。

3. 化石燃料代替効果

木材を廃棄・燃焼させると炭素が放出されますが、その炭素は次に成長する木材に吸収されます。大気中の二酸化炭素の濃度を上昇させないと考えられます。化石燃料をやめて、バイオマスなどの木材に代替することにより二酸化炭素を削減することができます。

B. 木造建築の良さ

以下の効果が期待できますが、いずれにしても個人差により効果が違いますので注意してください。

1. 人の生活と健康にやさしい

- ・材質にぬくもりがある
- ・香りがリラックスさせてくれる
- ・木肌の色が視覚柔らかく感じる
- ・木肌が柔らかい 触感が体に優しい
- ・大気中の湿度を調整
- ・断熱性も高く湿度の多い日本の環境に適応している
- ・木の香りや色や肌触りなどが体や脳の活性化に期待できる

2. 耐久性

材料の選定・基礎・構造・屋根の形状などにより違いますが、木の理にかなった設計をし、メンテナンスをしっかりと実施することにより、100年も200年もつ耐久性があります。現に多くの木造建築は京都・奈良をはじめ全国に残存しています。

3. 耐火性能

コンクリート造よりは劣りますが鉄骨よりは強いです。

4. 耐震性

現行の法律なら、熊本地震で耐震性立証済み。問題はなし。

5. コスト

全体が軽いので杭が不要となる場合がある（地盤調査による）設計により変化するが、市場の市販品を使うと安くなる場合があります。

色々な面で木の建築は優れています。日本国土に豊富にある木を使うべきだと思います。

クリスマス例会に想う

甲府21ワイズメンズクラブ 松村禎夫

私がワイズメンズクラブの行事に参加したのは、2000年12月の甲府ロイヤルガーデンホテルでの甲府21ワイズメンズクラブのクリスマス例会が初めてです。

私はその年の10月に大企業を退職し、友人と5人で小淵沢に技術系のベンチャー企業を立ち上げました。小淵沢の知人・友人は、一緒に会社を立ち上げた友人2人以外おらず、少し寂

しい気がしていたので、兄に誘われて、高校時代に色々お世話になった山梨YMCAと関わることになりました。何の躊躇もなかったです。その頃の甲府21ワイズメンズクラブは、現在と同じくらいメンバーが多く（会員25名）、参加したクリスマス例会は39名が参加した盛大な会でした。当時から例会名物のオークションが相川先輩などのリードで盛り上がっていたのをよく覚えております。

それ以降、17年間ワイズ会員でしたが、山梨の僻地の八ヶ岳南麓から甲府まで出るのが億劫なので、つい2、3年前までは幽霊会員に近かったのですが、クリスマス例会だけは毎回出席してきました。クリスマス例会では、毎年近隣の牧師に来ていただき、クリスマス礼拝を守ることができ、ワイズメンズクラブが他の奉仕クラブとの違いを強く感じてきました。そういう意味で、このクリスマス例会は、EMC/MC（クラブ拡張・会員増強・維持管理）の良い機会だと思います。

第1回あずさ部エクステンション委員会設立

甲府21ワイズメンズクラブ EMC委員長 廣瀬 健

先日（10月21日）あずさ部会神楽坂開催前に第1回あずさ部エクステンション委員会（会員増強）が設立されました。委員長の菰淵会員増強主査（東京サンライズ）が務めます。

委員会は3年の任期でメンバーは12名です。今後、年3回の評議会と1回の部会で一堂に会して必ず会議を行い、メールなどでコミュニケーションを図り情報を共有していきます。メンバー12名はあずさ部11クラブから選出され、甲府21クラブは私が担当することになりました。

次期あずさ部長の任もありますので皆様の協力なしでは成し遂げることはできません。ご協力をお願いいたします。

今月、茅野メンのご紹介で甲府21クラブに新しい仲間が増えます。山本様歓迎します。

初めてのバザー

甲府21ワイズメンズクラブ 米長晴信



YMCAバザーの様子

2017年11月3日＝甲府市・山梨YMCA青少年センター

11月3日に開催された恒例のバザーに初めて参加させていただきました。年間行事の中でも最重要に位置付けられているので、事前に行われた実行委員会にも何度か出席し、状況の

把握に努めました。しかし百聞は一見にしかず、実際のバザーに出て初めて様子がわかりました。私の担当はお菓子の福袋・マヨネーズや油・掘り出し物市の販売でした。いずれも市場価格よりも安いものばかりで、きちんと告知できればもっと集客できるのではないかと思います。

また、購入後に建物の上の階に行く方が多く、商品の取り置きが大変で、自然発生的にクロークのサービスをしていましたが、ここをきちんとやった方がいいのではないかと感じました。

他のフロアも含めた全体的な印象ですが、初めて来た人でも単なる安売りでなく「チャリティー」であるということがわかるような工夫があってもよいのではないかと感じました。また、子供が遊べるようなもの（ヨーヨー釣りとか輪投げとか）を増設すればいいのではないかと思います。来年もさらなる成果を上げられるよう、皆様とともに積極的に参加させていただきます。

YMCAバザーを終えて

甲府21ワイズメンズクラブ メネット会 会長 野々垣 悦子

今年のバザー当日は晴天に恵まれました。

早朝より、コーヒーの良い香りに誘われて2階の部屋はお客様でいっぱいになりました。

また、部屋前の呼び込みで雑貨ものは飛ぶように売れました。綺麗なラッピング、100円という安さ、中身の楽しい組み合わせが集客の目玉になりました。

メインのケーキはバラエティに富んだ5種類で、早目の完売でした。材料のクルミとレーズンは今年も株式会社みやさか食品の社長様より、快く提供していただきました。

また、愛宕町教会で毎年、会場をお貸し頂き、今年はコーヒーメーカーもお借りしました。

買い物から準備と、メネット会員の惜しみない協力があり、感謝です。売上は少々昨年より少ないですが、来年は企画を検討しつつ、YMCA支援の為、頑張ろうと思います。

第16回 山梨県障害者フライングディスク大会に参加して

甲府21ワイズメンズクラブ 稲垣浩司

今季一番の冷え込みになった気温4度の朝、午前9時15分に集合しました。待ち切れないY県さんは、なんと8時5分に来てしまいました。しばらくの間、小瀬スポーツ公園の紅葉を楽しまれていたようです。当日が山梨県民デーと重なったこともあり、参加選手が70名程度と例年より少なめでした。以前はスタンド下の倉庫が表彰式の場所で、参加選手もたくさんいたので、次から次と表彰式に集まる参加者とすぐに引き上げない参加者とでごった返している中、何だか分からないままバンザイバンザイに明け暮れました。

今回は表彰式の場所がグラウンドにあるので、進行状況がよく分かりました。うまい子も、全く投げられない子もいました。表彰式では恥ずかしいのかニヤニヤ止まりの子もバンザイ隊のバンザイ、バンザイで笑いの段階がはじけたのか大喜びの子

も沢山いました。

競技プログラムが午前には終わり昼食後には、どなたでも参加できる「ディスク体験コーナー」があり、私たちも参加させていただきました。これが面白い。思ったように飛ばないのです。肘が痛いほど放り投げてヘナヘナと落下するのです。たまに気持ちよく飛んでいくのですが、コツがわからない。4ヵ所のゲームを全て挑戦して、駄菓子を頂き、気持ちよく帰りました。でも寒かった。



フライングディスク大会の様子
2017年11月20日＝甲府・小瀬スポーツ公園

YMCA便り 2017年の山梨YMCA

山梨YMCA総主事 露木淳司

2017年が終わろうとしています。YMCAの一年を振り返ってみましょう。2月に立ち上げた発達障害児のための放課後等児童デイサービスは、3月から毎月計ったように3名ずつ利用者が増えました。秋に入って19名に達し、おかげ様で収支差も得られるようになり、ほぼ軌道に乗ったと言えます。プライムタイムと呼ばれる学童保育も順調で、下石田の南西望みの家の使用スペースが9月から拡大されました。そして介護保険事業「ぶどうの木」は年間を通じて利用者が15名定員を満たすようになり、安定した運営が可能になっています。夏休みのわいわい地球塾やキャンプにも新規の子供達が大勢集まり、YMCAの利用者は確実に増加しています。そして全国的にはブランディング元年と呼ばれ、ロゴマークやキャッチフレーズ、印刷物や看板、ユニフォームなどが一新されました。ワイズメンの皆さんと続けて参りましたチャリティーランもなんと20回目を数えるに至りました。そしてバザーは57回ということでもまもなく還暦を迎えます。こうして無事一年を終えることができるのも、ひとえに皆様のご支援、ご協力の賜物です。明るく2018年も引き続き何卒よろしくお願ひ致します。特に来年は道路拡幅に伴う新会館建設計画が大きく進展する見込みですので、ぜひお楽しみにお待ちください。

■今後の予定

2017年12月16日(土)	松本クラブ アジア賞授賞式(長野県)
12月19日(火)	第2例会(山梨YMCA)
2018年1月9日(火)	合同例会(談露館)
1月16日(火)	第2例会(山梨YMCA)